

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆

近藤龍弘

〒940-0052

長岡市神田町1丁目4番10

TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・小林善秋・高橋深
室賀清輝・高橋利春・加瀬由紀子
近藤マリ子・近藤真弘・近藤善信

後援・株式会社アサヒ

印刷・(株)北越時報社



安善寺の本尊様と菩薩等

ご家族の皆さままでご覧下さい

『お彼岸』をむかえて

翠巖龍弘

暑い八月もおわり、今年も三ヶ月余りとなりました。

年齢を重ねるに比例して一年が短く感じられると言われておりますが、国内外に於いてあまりに多くのことがありすぎて、あつという間に時が過ぎたと感じる面もあるようです。

この季刊紙が皆様に届くころは秋のお彼岸です。「彼岸」とは「パーラーミター」という古代インドの言葉の音字で「到彼岸」波羅蜜の略で、「彼岸会」の略でもあります。生死輪廻の迷いの世界を此岸とするのに対して、彼岸とは理想の世界、生死の海を越えた悟りの岸、解脱涅槃の悟りの世界、無為の岸です。彼岸会は春分、秋分の日(彼岸中日)をはさんで、前後三日の七日間行われる法会でインドや中国で行われたことはなく、日本のみに行われて、その起源は古く

聖徳太子のころといわれています。

孟蘭盆会とともに最も民衆化されて、国民生活の中にとけこんだ仏教行事であり、一年に二度、春秋の昼夜の時間を同じくする時に、日常生活を省みて仏道精進の機会として、また修養週間として仏道に励んで彼岸に渡る努力をする日々であります。

また、今日ある自分の尊さ、先祖から受け継がれてきた生命を再認識する日々でもあり、ご先祖様に感謝報恩の供養をする一週間でもあります。

安善寺では、彼岸入り・中日・彼岸明けの午前十時三十分より法要・法話が勤まります。終わって茶話会もありますので、お墓のお参りだけではなく、法要にもお参りください。お彼岸の期間は、大乘仏

教の修行徳目である「六波羅蜜」(六度ともいう)彼岸に渡る為に次の六つを絶えず心に留め、少しでも実践したいものです。

①布施波羅蜜：施しをする自分以外の人に愛情をそそぐ。

②自戒波羅蜜：戒律を守ること。節度ある生活。

③忍辱波羅蜜：他人から受ける迷惑などに耐え忍び怒りにとらわれないこと。

④精進波羅蜜：正しい努力。中道の努力をする。

⑤禪定波羅蜜：心を落ち着けること。精神をゆつたりと安定させる。坐禅

⑥般若波羅蜜：仏の智慧を得ること。真実を見るこ

とが出来るといふこと。これらは大乗仏教の理想的な行で、般若波羅蜜にもとずく慈悲行が、お彼岸そのもので「彼岸到」の生き方は正しいでしょうか。

昔離れしより秋己に両たびし 今聚れど夕双ぬる無し 『分選』

【日々精進(十四)】

人との出会いを大切に日々精進です

近藤 真弘

前回の季刊誌でご報告いたしました御本山での生活も早、三ヶ月が経とうとしています。四年ぶりの御本山での生活でしたが、以前身に付けた所作進退は月日が経っても身体で覚えており、比較的容易に新たな修行生活に入ることができました。

とは言っても修行僧として御本山に身をおいていた時とは違い、監院老師の補佐をさせていただくと共に、修行僧に指導を与える立場というのは、改めて身が引き締まる思いであります。同時に以前には無い緊張感、新たな良い刺激として日々の成長に繋がるような実感もいたします。先日もある方が来山され修行僧に講演をされました。ある方というのは元サッカー日本代表の監督である岡

田監督です。限られた時間の中三十分程の講演と、修行僧との質疑応答の時間を取ってもらい、ご自身の監督時代のお話から、環境問題の話、この度の震災後の

ボランティアの話と、内容は多岐に渡り、大変有意義な後援会でありました。その中でも私が心に残った話の一つを書かせていただきます。



岡田監督が日本代表の監督を務めていた時の話ですが、指導方針としてブロックを高く積むのではなく、ブロックを横に積んでいくことを心掛けていたと言われました。これはどういうことかと申しますと、すぐにチームを強くすることは可能かもしれない。しかし、それはブロックを細く高く積み上げることでバランスが良くない、いずれそれは崩れてしまう。しかし焦らずにブロックを横に積み、土台をしつかり築くことがより今後の成長に繋がる。ブロックを上積みするのは後の監督の仕事で、自分はブロックを横に積み上げる指導を心掛けていたと言われる。自分の監督時代に良い結果が残せたのも以前の監督が横に積んでくれた



ブロックのお陰であり、その時に結果として残せなかった監督の時代も決して無駄なことではなかった。そんなお話をされましたが、これはサッカーに限ったことではないと思います。我々が人生を歩む上でもとても大切なことです。先を焦って、背伸びをしても今の足元が整ってなければ成功してもそれは砂上の楼閣にすぎません。今いるこの瞬間を大切に一步一步踏みしめ踏み固めることが、その先の人生にいい風に繋がるのは間違いないと思います。岡田監督は禅にも大変興味を持ち、御自宅では毎日坐禅を組み、仏壇にも毎日お参りをされているそうです。大変親しみ深く、お話の中で昨日が自分の誕生日だったと言われ、それが私の息子と同じ誕生日だったので、お話の後そのことをお伝えすると、とても嬉しそうにされていました。人と人との出会いはとても大切なことです。安善寺にいる時にしか出会わない出会い、そして、ここ總持寺にいなければ出会えなかった出会い。今いる自分の、その出会いを大切に日々精進していきます。

〔長岡紀行②〕

ワインの不思議(2)

長岡市/ザ・ワイン中村 中村新太郎

(前号からの続き)

日本のブドウだけで一生懸命ぶどうを育て、ワインをつくっている全国のワイナリーのワインと同じように、国産ワインと判断されている状況は間違っていると思います。日本にはワイン法がありません。でもワインの表示にひとつの基準をつくるように山梨や長野県で原産地呼称制度が始まりました。

ヨーロッパや他のワイン生産国にはワイン法がありますので、少し勉強していただければワイン選びの参考になります。また、最近はおムリエ、ワインアドバイザーの数も増えてきましたので、ぜひ質問してお好みのワインを探してください。

しかし、ワインは大変分かりやすいお酒でもあります。色も赤、白、ピンクとありますし、濃厚な甘口から辛口、フルーティで軽いものから



渋味の多くてしつかりしたもの、たいへん味の広がりのある飲み物です。ぜひご自分の好みに合ったワインを探して楽しい食卓を演出してください。

それでは、そのワイン選びについて。まず、ワインには赤ワイン、白ワイン、ロゼワインとあるのは皆さんご存知の通りです。しかし、味わ

いにも大きな違いがあります。それはワインの造り方が大きな要因になっています。赤ワインは黒ぶどうをまると、皮、種も一緒につぶして発酵します。皮からの色、種からタンニンなどの成分をワインの中にとりこみます。それに対して白ワインは、ぶどうをしぼってジュースを発酵させます。ロゼワ

インも黒いぶどうをつぶしてピンク色になった果汁を発酵させます。だから、白とロゼワインは良く似てます。成分的にも酸、糖分が大部分です。リンゴ酸は冷たいほうがおいしく感じられるので、白、ロゼワインは冷たくしてお召し上がりください、となります。

赤ワインはタンニン、色素が主な成分になります。タンニンは冷たいとより渋く感じます。だから温度をあげて、他の香りの成分を引き出し、タンニンとのバランスをとってお召し上がりください。ということで飲用温度十五度〜二十度くらいでとなります。当然それらを飲むときも白、ロゼワインはワインが冷たいうちに召し上げられるように小振りのグラスになりますし、赤ワインは香りを楽しむために大きなグラスに三分の一くらい入れてとなります。

さて、ワインを選ぶというときに目安になるのは、そのワインがどのブドウ品種から造られているかということです。世界四十数カ国でワ



インを造っています。フランスの十二%のワインを生産しているボルドー地方だけでも約八千のシャトーがあるといわれています。すべてのワインに精通するのは不可能です。ましてやワイン銘柄は無限にあります。しかし、世界で栽培されているワインのぶどう品種も無数といつていいほどあります。が、次の品種の特徴をとらえていればワイン選びの基本になると思います。

白ワインならシャルドネ種、ソーヴィニオン・ブラン種、リースリング種。赤ワインはカベルネ・ソーヴィニオン種、メルロー種、ピノノワール種を手始めに試していただき、ご自分の好みのワイン品種を探してみてください。きっとお気に入りのワインが見つかると思います。

ワインを飲む時にぶどう品種のことを気にかけて召し上がると、ワインのおいしさ、楽しさが大きく膨らむと思います。

私の好きなワインの格言は「一杯のワインが友をつくる」です。やはり家族、友人と、おいしい料理とワインを楽しむのが最高です。ワインを飲みたくなったらぜひザ・ワイン中村までお電話ください。

(012010110434)

ヨガと坐禅

IYS 鈴木 真衣

今年5月より始まった本堂での「ヨガと座禅」クラスを担当させていただいている、新潟市ヨギスタジオリYSの鈴木真衣です。

IYSの意味は「Integrative」総合的にYOGAヨガをStudy勉強する」という意味です。私は5年前にインドにてヨガの勉強をしてきました。日本に帰国し皆様に学んできたことを伝えるためにこのIYSを始めましたが、私自身も勉強をするという目的をもって行っております。

現在、日本や世界で注目されている、体の動きだけではなく、精神、そして魂までを含めたヨガを広める目

的を持って行っております。そして3年前より、インドからグル(先生)をお呼びし、より本格的なインド古典のヨガを皆様に伝えております。そしてインストラクターの養成も行い、今までに五十名ほどの卒業生を育ててまいりました。

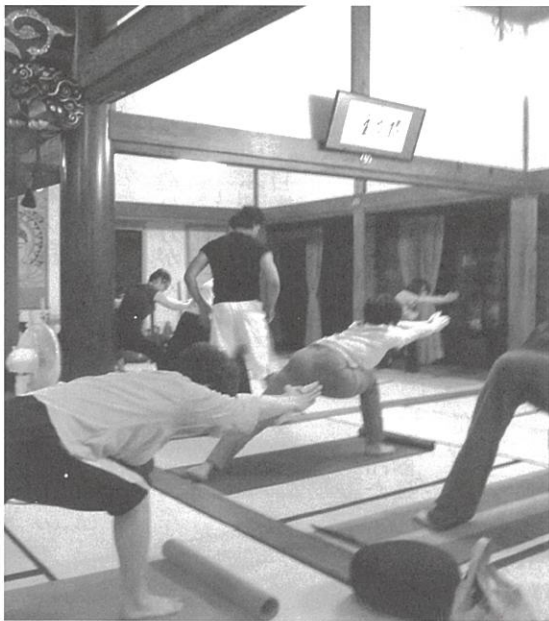
お寺という素晴らしい場でヨガを皆様に伝えられることを光栄に思っております。皆様もご存じのお釈迦様も、もちろんヨガを行っていた一人です。なので、ヨガと座禅の組み合わせはとも素晴らしいものだと思います。お寺でのヨギクラスを担当しているのはグル(先生)です。時にはお釈迦様のお話をさせていただいたり、ヨガを現代の社会に生かす方法などを九十分の間で練習しています。

私も何度もお寺で素晴らしい体験をさせていただきました。精神を集中させるその時に感じる幸福、無意識にあるストレスからの解放。お寺でのヨガを通していろんなことを感じます。私達は果たしてどこまで自分の真

実を知っているのでしょうか？ それを悟る旅を続けているのでしょうかね。それでは、これからヨガとは何か、私達の行っているヨガのご説明させて頂きます。ヨガは「調和」や「一致」を意味し、サンスクリット語の yuj (ユジュ・結びつきを意味する)に由来しています。この調和や結びつきは宇宙の意識と個人の意識の融合のようなスピリチュアルな関係を表しています。

れはAsanaアーサナ・Pranayamaプラーナヤマ・Mudraムドラ・Bandhaバンダ・Shaktiシャクティ・トカルマ・瞑想の練習を通して行われ、融合が実際に起こる前に達成しなければなりません。

ヨガの練習をとおして感情・精神そして体のレベルの相互関係の意識改革、そしてこれらの中の一つの妨害がどのように他の物に影響



より現実的なレベルで、ヨガは体・心・感情の均衡や調和を意味しています。こ

響するのか。この意識が徐々ににより神秘的な存在のエリアの理解へと導きます。

IYSの行っているヨガは聖人パタンジャリのRaja Yogaを行って、1. Yama(自己抑制・禁戒) 2. Niyama(自己厳守・勧戒) 3. Asana(アーサナ(ポーズ)) 4. Pranayama(呼吸法) 5. Pratyahara(プラティヤハラ(外の世界との意識分離・制感)) 6. Dharana(ダーラナ(集中力・凝念)) 7. Dhyana(ディヤナ(瞑想)) 8. Samadhi(サーマデー(純粹な意識との一体化・三昧))が含まれています。お寺のクラスでは3, 4, 5, 6までの練習をしています。その後の座禅で7ができると思いますが、現在は座禅を少しお休みさせていただいています。

多くのヨガアーサナは動物の動きに反映し後に名づけられています。観察を通して、ヒンドゥー教の賢者達はそののくらの動物たちが環境や体との調和の中で、生きていくのかを理解しました。彼らは特別な姿勢の効果やどのようにホルモンの分泌が刺激され、コントロールされているのかを経験を通して理解しました。

例えば、うさぎや野うさぎをシャシヤンカーアーサナで手本してみると、彼らは争いや逃走のメカニズムでアドレナリンの流れの原因に影響を与える事ができます。動物の姿勢を手本として、ヒンドゥー教の賢者達は動物たちが健康を維持し自然に挑戦する事が出来ることを発見しました。

「三休詩」

Prana(プラーナ)は中国医学で言う「氣」や「地」に相当し、すべての人の細胞の活動をつかさどるnadis(ナーディ)と呼ばれる流れのパターンにそって体中に広がります。体の硬直はプラーナ(生命エネルギー)が続いて起こる毒素の蓄積をブロックします。プラーナ(生命エネルギー)が流れ始める時、毒素は体中の健康を守るシステムから移動します。体が柔軟に、簡単にすることは不可能と思われた姿勢になるように、動作の柔軟性・優雅さは発達します。プラーナ(生命エネルギー)の量が多量に増える時それ自身アサナ・ムドラ・プラーナヤマが自発的に起こるにより一定の姿勢へ変わります。

この他にもより深く学んでいくと、私たちの知識を進化させ、より人らしく生きていくことが出来ると思います。お寺のクラスではまず意識を外側から内側に戻す事から始まり、アサナでより体を見てプラーナヤマ(呼吸法)でより心を制御し、

集中に導き、座禅へ進んでいきます。

目的は体の健康の為に始まるのもいいと思います。山の入口はそれぞれ違っても頂上は一緒です。今からでも遅くありません。一度やってみようと思ったら是非行動してみてください。ヨガと座禅のクラスにてお待ちしております。

合掌

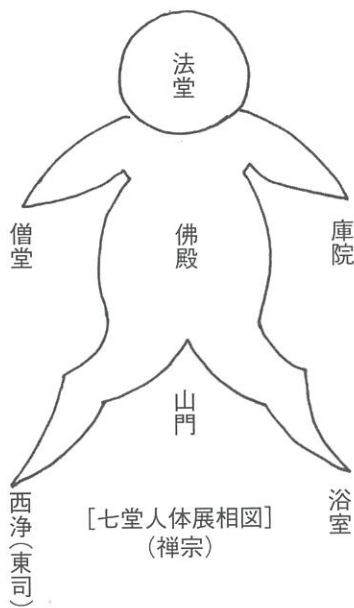
龍弘流 読者とのQ&A (パートII)

Q

五月に安善寺様の団参で大山總持寺様へ参拝した折、御移転百年の記念行事ということで、普段は一般人は入られない佛殿で「傳光法会」という有り難い法要にお会いさせていただき、大変感動いたしました。ところで「佛殿」とはどういう場所でしょうか？ また、「七堂伽藍」は何をいうのでしょうか？

A

七堂伽藍とは本来は完全な堂宇が具わっている



【七堂人体展相図】(禅宗)

る寺の意で、七は必ずしも数を意味しなく、内容も一定していなく、金堂・講堂・塔・食堂・鐘楼・鼓楼・経蔵・僧坊などで、宗派によって種類も名称も異なっています。禅宗の七堂伽藍は中国

殊・普賢の両菩薩を添えるもの、または左右に迦葉・阿難の二尊を添えるものもあります。總持寺の佛殿は雄寶殿とも呼ばれ、大聖釈迦牟尼佛が、迦葉・阿難の二弟子を脇侍として祀られ

宗朝の伽藍配置法に則して整備されたもので、山門(三門)・佛殿・法堂(本堂)・庫院(庫裏)・僧堂(坐禅堂)・浴室・西浄(東司)の七堂です。ただし黄檗宗では、本堂・禅堂・齋堂・祖師堂・伽藍堂・鼓楼・鐘楼の七堂です。佛殿とは、七堂伽藍の中心部に配置する殿堂で、大殿・大佛宝殿・覺皇宝殿・大雄宝殿ともいわれ、堂内の須弥壇には、弥陀・釈迦・弥勒の三尊を安置するものや、中心に釈迦像、左右に文

ております。また、須弥壇上の大蓮華は、前住が小僧時代、参禅会員の皆様と托鉢での浄財で関東町の栗林仏具店で作ってもらい奉納されたものです。地方寺院では、佛殿と法堂が一緒で、本堂として使われています。安善寺の本堂には一面の写真のように獅子上の文殊菩薩・白象上の普賢菩薩を両脇に、釈迦牟尼佛が祀れ、下の段には、迦葉・阿難の二尊と、誕生佛・出山如来佛が祀られております。

燃えろ！ ロンドン五輪へ！

加瀬加奈子選手後援会設立総会でご出席へのお礼！

前回の季刊誌でお知らせしましたが、去る八月十日、ホテルニューオータニにて二〇一二年ロンドンオリンピックを目指す加瀬加奈子選手の後援会・設立総会が開催されました。総会は二



議所副会頭と祝辞をいただき、加瀬加奈子選手がロンドンオリンピック出場に向けての決意を表明、酒井正春長岡市議会議長の乾杯、祝電披露と続きました。ご出席の皆様、また会員に登録いただいた皆様、ありがとうございました。加瀬選手にはロンドンに向けて更なる精進を、お願いしたいと思います。

お別れ

(平成廿三年七月〜八月末まで)
田村 和明様 七月十日寂
長岡市下々条

大刀川彦一朗様 七月廿八日寂
長岡市希望ヶ丘

関川 博様 八月十六日寂
長岡市花園

ご冥福をお祈りいたします



『長岡花火』は いつまでも長岡っ子の誇り！

小森 幸子



Photo: 飯島幸治氏

岡花火を観た気がしません。そして中越地震後に初めて打ち上げられた復興祈願フェニックス花火は、いつ見ても何回観ても、新たな感動を覚え涙するのは私だけでしょうか。平原綾香さんの歌うジュピターの曲にのせ、ゆつたりと大らかに舞うその姿は疲れた心を癒し明日への希望を感じさせてくれるすばらしい花火です。

すよね。

今年には特に東日本大震災・花火大会直前の大水害など大きな災害の後だけに様々な想いのフェニックス花火でした。被災地の方々にもぜひご覧いただきたい花火です。

毎年お土産屋をしながら観光客の方々とお話させていただけますが、花火を堪能された後お見送りすると

うちわで扇子ながら自宅前でご近所と花火談義、やがて三尺玉打ち上げを告げるサイレンの音。「お、いよいよ三尺だね」「今年の三尺はすっごかったね」、などの会話が飛び交い、大人も子どもも「わか花火評論家」、子どもころの花火の日です。長岡の花火は、長岡っ子にはなにより誇らしく、それはそれは8月2日3日が待ち遠



NPO-PHOENIX APPR.CHU20110701PR Photo: 大竹 俊夫氏

長岡花火デザインプロジェクト
(株式会社中越) 代表 小森 幸子
URL <http://www.hanabi-chuetsu.co.jp>
印刷業のかたわら長岡花火をモチーフにしたグッズを企画・製造・販売
長岡市学校町 3-9-5
TEL.0258-32-2948 FAX.0258-30-5539

「すばらしい花火ありがとう」「来年も絶対来るね」「感動しました、ありがとう」などそれまでの疲れが吹き飛ぶ感謝の言葉をいただきます。そのたび長岡に生まれ育った長岡っ子であることをとっても嬉しく思います。長岡大空襲の犠牲者追悼ということから始まった長岡花火大会ですが、いつの時代も人々を慰め、勇気づけ、元気にしてくれる長岡花火であり

つてほしい、そして長岡っ子が世界のどこに行っても誇ることができるものであつてほしいと願っています。こうしてすっきり観光化され県内外に有名になった長岡花火大会ですが、これに反比例するように、中心部から遠くなればなるほど関心が薄れているような気がしてなりません。長岡も人口二十八万人にもなり、これも仕方ないことなのでしょう。たとえば町村単位でオリジナルな花火で全国におらが町をPRするなど、参加の仕方はいろいろ考えられると思うのですが、これくらい全国に知れた長岡花火大会

を地域おこしに活用し、二十八万市民みんな参加できたらもつと感動的で意義ある花火大会となるのではと思います。来年にはこの長岡花火がハワイやアメリカ本土でも打ち上げられるということですが、長岡花火が世界平和に貢献するなんてだれが考えたでしょう。すばらしいことですよ。私たち長岡っ子はずっと「長岡人」として自信を持ち、郷土を愛し誇りをもちましようよ。そしてこの想いを、明日の世界に飛ばたく長岡っ子に繋いで行きたいと願っています。

旬歌 愁灯

[三十一話]

雪山讃歌

加瀬由紀子

この季刊誌が皆様のお手元に届く頃、私はまだパキスタンの奥地を歩いているに違いない。長さ六〇キロ世界一長大なバルトロ氷河を、足をひきずりながら歩いているのだろうか、それとも高山病で頭を抱えているのだろうか…。

「一番ではなくて二番ではだめですか？」と言ったのは事業仕分けで名を上げた運輸議員だったが、二番の方がすごい山がある。

K2(二ではなくトゥ、と読んでください)…その山はヒマラヤ山脈の西端に連なるカラコルム山脈の最高峰。標高八八四八Mのエベレストに二百M足りない二番目の高さ八六一一M。エベレストには現在約四千人が登頂していて遭難者は二二〇人(約5%)。それに対してK2の登頂者は二五〇人、遭難者数は七〇数名(約30%)。



二十世紀の後半、ヒマラヤンハンターと呼ばれる登山家達の登頂が相次ぐまで、この山が名を知られることもなかったのは、あまりにも辺境の地にあつたからだ。K2という名は、十九世紀末にインドの測量隊がこの地域の測量を始めた際、カラコルムのKに山の番号を順につけて行き、最後まで

でその呼称で残ったのがK2だった。四〇℃の灼熱のイスラマバードからバルトロ氷河を延々と遡り、ようやくたどり着く地点が標高四六五〇M、氷点下二〇℃のベースキャンプ、コンコルディアである。パリのコンコルド広場をもじってしゃれた名を付けたものだ。八千M峰

四座と七千M峰数座に囲まれた岳人垂涎の地である。今回私はその地まで、テント泊十六日を費やす二十六日間の究極のトレッキングに参加することになった。

既に出かけてきた人の話では、K2を完全に仰げる日は少ないそうだ。山頂には風速五〇M前後のジェット気流が渦巻いていて、ほんのわずかな時間に三角錐の山容を見ることができるといふ。天候不順に加えて

もろい岩盤、雪崩というより氷塊の落下、氷雪の長い稜線から滑落すれば三千M下の氷河や深いクレバスだ。近代的な登山技術を駆使しても、未だ厳冬期と東稜からのルートは未踏の山、「非情の山」の呼称を持つ白亜の峰を仰ぎに出かける私を、友人はため息交じりに言う。

(注・羨望のため息ではなく、呆れたため息)

「ほぼ一か月も登下高を繰り返し、風呂にも入れず、厳寒のテントに泊まって何が面白いのかな。同じ六〇万円で、二日間のカリブ海豪華客船クルーズの方がよっぽど

楽しいよ。」

だからこそ、私は行く…このトレッキングに備え、過酷なトレーニングで体を鍛えてきた。北アルプス、富士山と高度順応に挑戦してきた。決死の覚悟…と言いたいが、参加者十二名を誘導するのはプロガイドだし、各人に一人、ポーターが荷物を運び、専用コックが日本食も作るという。

八月四日の都内での説明会に参加者十二名の半分の女性六名が集まった。驚いたのは、全員が一人で応募、しかも六〇代だった。最高齢の六十五歳の女性は一年に三回もカトマンズに行き、トレ

ッキングに参加しているとか。上には上がいるものだ。長期の休暇、参加費、体力のピークを考えるとやはり退職した私の年代になるのだろうか。

そういえば、明治大学は今年創立百二十周年を迎え、その記念事業として私が籍を置いた体育会山岳部は、植村直巳追悼マッキンリー(標高六一九〇M)登頂に成功している。これも何かの縁かもしれない。

入学時、キャンパスで各サークルが盛んに勧誘を行っていた。私は雪山の写真を掲げた机に足を止めた。懐かしい守門山塊の写真、とつい入部してしまったのは山岳部だった。後日先輩から「バカもの! あれはマナスルだ」と笑われたことを懐かしく思い出す。

K2は長らく私の胸の中で難攻不落の遙かな憧れの山であった。夢の実現に加担してくれた娘と母に感謝しつつ、神々の座でもあるデスゾーン(八千M地帯を死の領域と呼ぶ)をしっかりと目に焼き付けてくるつもりだ。



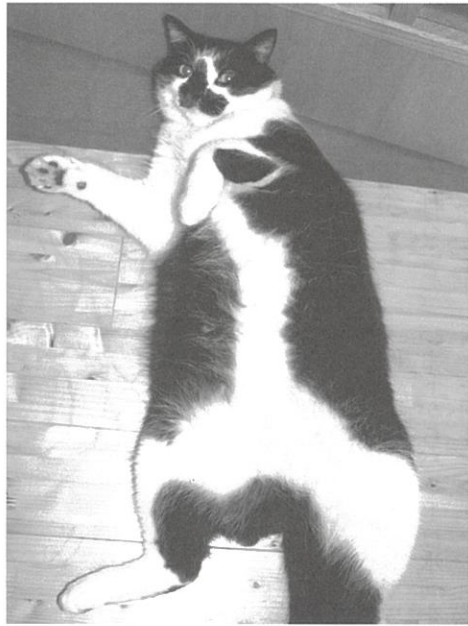
ボブの独り言



賑やかな夏の終わりに……

ボブの独り言

「いーつまでも暑くてねー」「本当に！ 朝晩は涼しくなりましたけどね」、今朝も玄関で訪ねて来られた人と話せばーばの聲が聞こえてきました。今夏は暑い日が続き、まだまだ残暑も厳しいようです。



お寺も副住職が居なくなつて二ヶ月半、お盆には少し帰ってきたのですが、しばらく会っていないかっただで真人君は泣いかな？ と思つていたら、泣きはしなくとも？ でもすぐに解つて、そのときの副住職の嬉しそうな顔、周りもホッとしていました。

そんな中、八月二十五日で一歳の誕生日を迎えた真人君。七月の下旬頃から歩き始め、目が離せなくなってきました。背伸びをして届くものは何でも取りたがるので、大事なものは置き場所が変わり、使う時に何

処にしまったか忘れ「何でこんなところにあるのかしら？」というばーばの聲がよく聞かれるようになりました。みんな上へ上へと品物が載り、上の方は置き場所がなくなりそうです。

以前は私も上が好きで、よく冷蔵庫の上やサイドボードの上ののったものでしたが、体が大きくなったのに加え、私の居場所はなくなつてしまいました。真人君の成長は犬にも影響を

受けているようです。

最初から大きな犬と一緒にいたものですから、私のように怖いとかいう感情はないみたいで、平気で体の倍もあるような犬のところに行つて、耳や鼻をいじり、犬に舐められても怖がることなく、たまに自分のおやつを犬にあげたりして仲良くしています。犬達も私と違って真人君は違う存在だというのが解っているのでしょうか？ そんな犬達も

今年の暑さには閉口したように、特に体の状態が以前にも増して悪化してきたサクラにとつて、この暑さはことさら厳しかったようです。

ばーばと散歩することが大好きだったのに外にも出れず、排泄・排尿も人の手を借りなければ出来なくなり、その分吠えることが多くなり可愛そうと思いつつも、つい叱られる声が聞こえることも多く、住職の「吠えなければ本当に良い犬なのに」と言う声が聞こえて来ました。

賑やかなお寺も八月下旬は何ヶ月ぶりに久美さんもお里帰り、元気なノンちゃんも訓練に行きひっそりとしていました。またすぐに賑やかな声が聞かれるでしょう……。

編集 雑感

人生には三つの坂があると云われます。

一つは「上り坂」。物事が何時も上手くいく、成長を続けて上向いてゆく、明日が明るい日々。二つ目は「下り坂」。何時も上り坂であればそれに越したことはありませんが、そんな日はかりではありません。困つたなど云う時、成長が止まつたなど思える環境等々。一難去つてまた一難、こんな繰り返しの日々を乗り越えてゆくしかないかと思います。三つ目の坂は「まさか」。思いもよらないこととおきます。私達も体験した中越沖地震、今年三月十一日の東日本大震災と福島での原発事故(予測が出来たこととの意見もあるかも知れませんが)。

最近私の友人が病気で入院しました。つい先日まで一緒に酒を酌み交わしていた友が、突然病に倒れる。私よりも本人が「まさか」のことです。悪いことだけでなく、なでしこジャパンのワールドカップ優勝なども嬉しい「まさか」になるでしょう。選手に云わせれば「まさか」ではなく有るべき結果なかもしれません。何が起るか判らないのが人生です。良いことも悪いことも上り坂あり、下り坂あり、そしてまさかありですから、上り坂では何時か下り坂がやってくることも心の何処かに留めておきたいものです。時には下り坂があつても又別の上り坂を探してゆくことも必要だと思えます。

まだまだ上り坂と云いたいですが、還暦を過ぎた私の年齢は頂点を過ぎたと云われても仕方ありません。頂点に行つたらその先は断崖だったと云つた芸能人がいました。私はゆつくりと充実した坂を下つてゆきたいと思っています。

(高橋 潔)

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事やしきや疑問(編集部がお答えします)など。
- 嬉しい・楽しい嬉しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

第五十六号、新年号は平成二十四年一月一日(日)発刊予定です